

番 号 1

平成20年2月27日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1 番 佐藤 直 樹

		平成20年2月27日 午前 9時43分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1. 観光施策について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・伝建群と歴史的景観条例について</li><li>・食品表示について</li><li>・新設される県の東京アンテナショップについて</li></ul> <p>2. 横町橋、内川橋について</p> <p>3. 財政の健全化について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・病院経営</li><li>・下水道事業</li><li>・人件費</li></ul>			
上記のとおり通告します。			

番 号 2

平成20年2月27日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 5 番 大 石 温 基

		平成20年2月27日 午前10時20分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
1. 農業 ・現状と今後の見通し ・市として技術協力を			
2. 観光と農業 ・観光客に地元農産物を			
3. 定住対策 ・環境の整備を			
上記のとおり通告します。			

平成20年2月27日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 21番

佐々木 章

		平成20年2月27日 午前9時45分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>「平成20年度予算編成と具体的施策について」 市長の考えられる効率的、効果的、行財政運営の具体的な内容は何か。 人口の減少、少子高齢化が進んでおり、加えて観光客も横ばい状態で、地域経済活性化のために創意工夫をこらした施策を求めるとのことであるが、具体的には何か。 ゼロ予算事業として職員による出前講座で、市民と行政の連携を図るということであるが、昨年も行政懇談会を実施したが出席者が少なく中止した会場もあったが、これについて検証はどうしたのか。 (市民と協働のまちづくり?) 職員に対して山積する課題に当事者意識を持っての取り組みを指示しているとのことであるが、指示されている当事者意識とは何か。 市長、副市長等特別職の給料カットを継続して経費節減に取り組んだとのことであるが、現在の市財政の状況の中で真に市民の理解が得られるのだろうか。 平成20年度決算からは財政健全化法に基づいての財政状況評価が導入されることとなるが、今後は総額計上の予算決算執行よりも、民間企業なみの「自治体経営」が求められるのではないかとと思われるが、市長はどのように受け取られているのか。 歳入のうちの税や交付金については、用途・目的が特定されているものも見受けられるが、これらの目的が十分達成されないままに一般財源化されているものもあるが、特定財源化することによってその効果が果たせるようにすべきと考えるが、というが。</p>			
上記のとおり通告します。			

番 号 4

平成20年2月26日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 8 番 浦 山 敏 雄

		平成20年2月26日 午前9時40分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>(1) 農林業の振興について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 農業農村を活性化するための戦略は</li><li>・ 林業の再生について</li><li>・ 水源の里づくりについて</li></ul> <p>(2) 医師確保対策と医療改革について</p> <p>(3) 田沢地区施設の利活用について</p>			
上記のとおり通告します			

番 号 5

平成20年2月27日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員19番 藤 原 万 正

		平成20年2月27日 午前11時20分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1. 農山村の活性化について 集落営農の組織化の進捗状況と課題と対策 小規模農家の不安解消対策 耕作放棄地の減少対策 限界集落対策 等について、それぞれ伺いたい</p> <p>イ) H20年度からはじまる産地生産拡大プロジェクト支援事業、農林水産物食品地域ブランド化支援事業 ロ) H19年度からはじまっている、未来志向型技術革新対策事業(高機能たい肥活用エコ農業支援事業、肉用牛振興を核とした地域畜産新生システム構築事業、地産地消モデルタウン構想) 等への取り組みについての考え方を伺いたい</p> <p>2. 環境問題について 環境問題に対する意識啓蒙への取り組みについて 環境リーダー育成について</p> <p>3. 自殺予防対策について 現在までの取り組みとその結果について 今後の取り組みについて</p> <p>4. LD、ADHDなど軽度発達障害の児童生徒に対する支援体制の強化について 現在、発達障害児は当市にどの位いるのか 平成17年4月1日に施行された「発達障害者支援法」では、国、県、市町村の役割として、「早期発見のため必要な処置</p>			

<p>を講ずること」としている。早期発見のための処置は？ 5歳児検診の実施について 教職員の理解を深めるための研修の実施 来年度から「学校生活サポート員」の県予算が付かないとの ことで現場では心配の声があるが、その対応について</p>	
<p>上記のとおり通告します。</p>	

番 号 6

平成20年2月26日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 3 番 黒 沢 龍 己

		平成20年2月26日 午後 5時14分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1 . 仙北市農業の活性化と地域農家が意欲をもてる施策は</p> <p>地元農産物を安定的に供給できる（米）の地産地消を積極的に進めるべきと思うが、考え方は</p> <p>観光産業と農家が互いに連携して振興を図るべきと思うが、考え方は</p> <p>2 . 職員各部所、課の人員数は適正か、また適材適所の配置であるか</p>			
上記のとおり通告します			

平成20年2月27日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員13番 田 口 喜 義

		平成20年2月27日 午前11時45分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 仙北市の今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の暮らしやすいまち、住んでみたいまち、観光産業を活かした北東北の交流拠点都市を実現するため、政策・施策(重点プロジェクト事業)を打ち出して進んでいるが、雇用や観光客の落ち込みが著しく続いている中において、見直しの必要はないか</li> </ul> <p>2. 仙北市の財政改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在過剰な債務、設備、人員、投資は</li> <li>・目標とする歳出、財務リストラは</li> <li>・行政改革、病院経営改革、福祉施設等民営化の各推進室・課の設置について、その期間と実行時期は</li> </ul> <p>3. 行政マーケティングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政のできることに、考えているマーケティングはあるか</li> </ul> <p>4. 市長がやるべき大きな仕事のひとつとして、職員にやる気を持たせること、人事、仕方、仕組みを作ることであり、そのための市長のメッセージ、アクションをどのような方法で周知徹底しているか</p>			
上記のとおり通告します			



平成20年2月26日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員4番 小田嶋 忠

		平成20年2月26日 午後 5時14分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1．統合角館小学校開校について</p> <p>1) 学校経営方針について</p> <p>2) 教育目標実現に向けての体制づくりはどうであったか。</p> <p>3) 心を育てる教育について どんなに時代が変わっても取り組まなければならない問題と 考えている。近年「命の大切さ」が失われつつあると感じる が、取り組みについて伺いたい</p> <p>4) 不登校問題について 施設の整備や人材の確保など万全なもとに取り組む必要があ ると思うが</p> <p>5) 開校に向けての課題は何だったのか</p> <p>6) 備品について 内訳についてなぜ変更したのか、当初の計画はどうなったの か</p> <p>2．神代小学校建設について</p> <p>1) 教育目標、学校経営についての考え方は</p> <p>2) 学区の見直しを検討する考えは</p>			
上記のとおり通告します			

番 号 9

平成20年2月27日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員18番 高 久 昭 二

		平成20年2月27日 午前10時11分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 仙北市民サービス向上と機構改革について  2. 高齢者生活と仙北市の対応 高齢者生活支援について ・入浴無料券発行事業継続について (給付) ・要保護者への長期生活資金貸付けについて 後期高齢者医療制度について		
上記のとおり通告します		